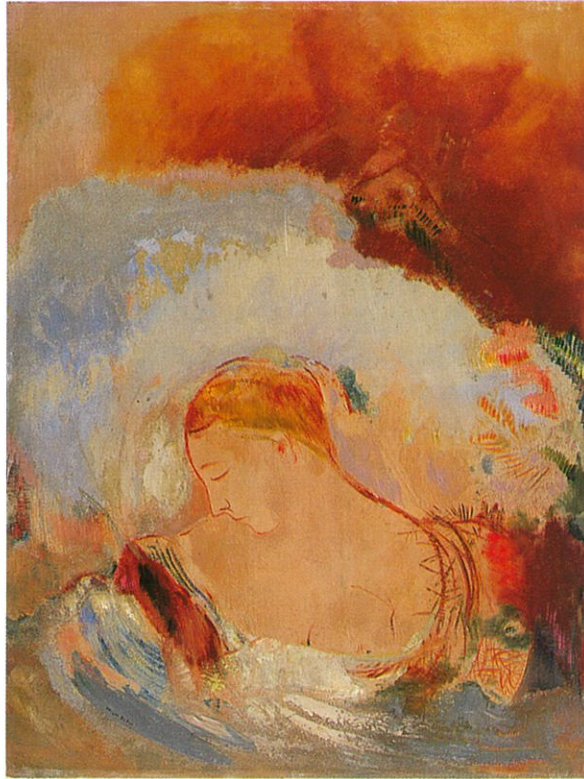


市立美術報 だより

発行 鹿児島市立美術館 〒892 鹿児島市城山町4-36 TEL (0992) 24-3400

館蔵品誌上ギャラリー ③④



オディロン・ルドン「オフィーリア」
(油彩・カルトン 70.0×52.8cm)

オディロン・ルドン（1840～1916）は象徴主義を代表する画家として知られている。1840年4月22日、フランス南西部のボルドーで生まれたルドンは生後わずか2日目で母方の伯父の許へ里子に出された。彼はここ、ペイルルバードの荒地で孤独な幼年時代を送ることになり、ひたすら自身の内面を覗きこむしかなく、想像の世界を研ぎすませていった。

本作品「オフィーリア」はシェイクスピアのハムレットに登場する悲劇の女性である。原作での描写は以下のようになっている。『正気を失ったオフィーリアは川辺の柳の木から滑り落ち入水す

るが、自分の溺れるのも知らぬげに、暫くは人魚のように水の上に浮いていた。その間、彼女は死を恐れることもなくしきりに端歌を口ずさんでいた。』

眼を閉じたオフィーリアの横顔は、ルドンの基本的主題であり、「眼を閉じて」シリーズの思考する人間の瞑想に通ずる深い精神性を色濃くとどめている。

「オフィーリア」は文芸上の運動として起った象徴主義の主張を強く感じとることのできる文学性の高い作品である。